

いきいきサロン

皆さんからの投稿でつくる、皆さんのページです

投稿募集中

お便り

補修人間(?)

仙台市太白区 齋藤幸治郎 93

このごろ、わが体形が気になってきた。もちろん93年も生きていけば、当然のことかもしれない。

先日、浪人生活の私はしばらくぶりでスーツを着ると、ズボンの丈が長くなっているのに気付いた。外出前のもので急いで別のものを見てみると、これも長い。私の身長が短くなったのか、年を取れば背中も前にかがむことで調和が取れなくなるのかと早速クリーニング店に短く(アタリほど)するよう頼んだ。

ズボンが短いのを周りがどう見ているのか、というように気になることは高齢者としてもきちんと心掛けるべきと思う。年を取ったからこそ、キリッとした格好で過ごす

べきと家内から注意されたのであった。腕時計だが、子どもたちから米寿の祝いに頂いたもので、今まで何ら故障もなく用いていたが、このごろ知らぬ間に止まっている。

時計店に持っていくと「これはソーラー時計で光充電が不足している。長袖を着るときはパネルが隠れてしまい、光充電が不足しがち」と言われた。「止まったときは日光で2週間充電するよう」と注意された。

何と不自由なことか。今まで何のこともなく使用して便利だったのに、自分の無知の恥ずかしさを思い知ったのである。これも年のせいだろうか。

先日は眼鏡の光度が気になり、いつもお世話になっている店を訪ねた。光度が少なくなったのはなぜかと尋ねたら「この眼鏡のコーティングが剥がれやすくなっております

コーティングは材質がプラスチックなので」とのこと。

これも購入時、何の説明もなかったことだし、驚いてしまった。早速新しいものに取り替えたいが、これも老体の無知から出費したものである。

さらに先日、入れ歯(義歯)が、がたついてきた。歯科の先生とは長くお付き合いをしているが、先生いわく「10年前に作ったのに、よく持ったね」と褒められた。これは私の手入れが良かったのか。

入れ歯は何となく年寄りじみた気がしないでもない。しかし食生活に欠かせないし、明るく会話が弾むなど、健康な暮らしに必要なもので早速補修することにした。週1回の手入れで大して痛みもなく、調整も慣れてうれしい。

老体も次々と補修(?)することに余念がない。年を取ると失われるもの

は、たくさんある。このように細かいことでも、少しずつ補修(?)しながら老後を、より、もっと楽しく変えていこうと思

う。

介護雀
仙台市泉区 山辺つよし 98

毎日、10数羽の雀(すずめ)が庭先に来ます。夫が他界してから毎朝お線香と食事を供え、その片付けのときに雀にご飯を与えるのが習慣でした。昨年、定年で帰ってきた息子が庭造りを始め、雀の愛らしい仕草もあって朝、昼、夕と餌を与えて楽しんでおります。

1カ月ほど前、「チュチュ」とうるさいほど鳴く雀がいて、様子を見ていたら1羽の雀が口移しで餌をあげているのです。以来、気を付けて見ていると「チュチュ」と鳴くときは介護雀が来たときで、息子もじつと見ており「お前は感心だなあ」

加美町 板垣篤子(66)



暑い時にはこれね

ピリッ

と言って、その雀が来る時間には多めに餌を与えています。

別の介護雀もいて、催促してもなかなか餌をあげない雀もいます。「雀の世界も大変なんだなあ」と息子と話しております。

子育ての時期らしく、庭の3方向から飛んで来て、餌を口に含み、巣に向かって素早く飛んで行きます。

庭つくりで珍しい草花を楽しみ、いとおい介護雀を見ることができ、楽しい日々を送っています。ちなみに介護雀とは、わが家で勝手に命名しました。

亡き父の思い出

仙台市泉区 星宮守 98

私の父親は岩手の片田舎に1897(明治30)年4月21日、星宮家の5代目として出生し、家庭を育ててきましたが、昭和33年8月27日、62歳で亡くなりました。

その間、先代より引き継いだ家風を基に、家族を中心に親戚、隣近所を含め立派な家庭づくりに努力されてきた姿が今も目に浮かんできます。

家庭づくりの基として提唱し、星宮家の家訓として常に言葉にしていたことがあります。お互いに偽りのない心を持つこと、お互いに健康に留意し健全性を保つこと、お互いに朝夕顔を合わせたときはあいさつを交わすこと、です。

食卓では食事の良い、悪いは言わないことなど、また、家族全員がそろったところで「いただきます」を合図に箸をとり、特に夕食時にはお互いにその日の出来事を話し、情報交換したことが良い思い出となりました。

私も家庭を持ってからは、これら父の家訓を良き家訓と思つて引用し、家庭の育成に努力していきます。



白露といふに

夏の残暑

栗原市 平澤敬司(74)

ほ